

令和4年度第2回役員会議事録

開催日時 : 令和4年7月9日(土)午後1時30分～2時35分
開催場所 : 増尾近隣センター A会議室
出席者 : 会長、副会長、会計、各部長・副部長 各町会・自治会・管理組合代表者

記

I. 議事に入る前の報告

1. 近隣センター所長より

- ・前回ご指摘のあった、センターの障子の張替えについては終了した。
- ・今日から4回目ワクチン接種の無料シャトルバスが運行される。

2. 柏市社会福祉協議会から今後のほのぼのプラザますおにおける事業展開について説明。

- ・ボランティア募集説明会(9/12・10/1)のチラシ配布のお願い。
- ・カフェの運営と傾聴ボランティア(お元気コール)を募集する予定。
- ・コロナの感染状況によっては、説明会の参加人数(30名)を調整する可能性がある。
- ・お元気コールは、申し込みがあった方にこちらから電話をする方法で、1回の時間は5分程度を基本としている。

II. 議事(報告・連絡・討議事項)

1. 総務広報部

① 名簿の訂正について

訂正した名簿を配布し、前回の資料の廃棄を依頼。

② トランシーバー交信テスト(6月18日実施)について

今回は交信テストに参加いただけなかった町・自治会が多かった。
第2回目は1月14日の12時から実施予定。

2. 文化体育部

① ホタル見学会報告(6月28日実施)

56名の参加で実施。今年は親ホタルを取らなかったため、数多くのホタルを見ることができ、「感激した」という参加者の声も聞かれた。

② 気象講演会報告(6月29日実施)

元気象庁勤務の古川先生に依頼。35名の参加で、実際の観測機器をお持ちいただくなど、とても新鮮な内容だった。機会があれば今後も継続したい。

③ ちびっこ体操教室報告(7月3日実施)

就学前の子供たちに親子で運動してもらおう内容。10家族で子供は17名参加。最近の若いお父さんは育児に協力的だということを実感。

3. 環境部

今回、報告すべき内容はありません。

4. 防犯防災部

① 5 避難所運営委員会意見交換会（7月9日）について

本日、3時半から5 避難所運営委員会意見交換会を実施。第一の議事として、災害時の情報伝達経路などの確認があり、今回は市から7名が参加する予定。二番目に、自治会が主体となっている現在の委員構成を、民生委員や社会福祉協議会を交えて避難所の生活に必要な様々な意見を取り上げられるような構成への変更を検討、三番目に令和4年度の避難所運営委員会の活動計画の確認、四番目に災害時用トイレについて市に確認する予定。

5. 地区社協部

① 子育てサロンについて

子育てサロン増尾では、6月20日のサロンに参加者の中からコロナの陽性者が発生。保健所の見解としては、スタッフの中には濃厚接触者の該当者はいないため、活動の再開についての指導はなかったが、2週間は休止することとし、7月11日から再開することになった。子育てサロン加賀は、コロナでしばらく休止となっていたが、加賀ふるさと会館2階を会場として、これまで火曜日だったものを毎月第1・3金曜日に変更した上で、7月1日から実施している。

② 敬老のつどい（9月18日）について

去年はコロナの影響で中止せざるを得ない状況となった。今年も昨年と同じ状況になるかもしれない懸念はあるものの、7月いっぱい状況を見た上で、8月の始めに町・自治会長に案内状をお届けする予定。実施にあたっては300名を上限とするため抽選が必要となるが、高齢の方に申し込み用紙をお持ちいただくわけにもいかないため、可能であれば町・自治会ごとに取りまとめをお願いしたい。

③ 見守り助け合い隊活動について

猛暑の影響で、高齢となっているサポーター自身の健康が心配なため、7月と8月の新たな受付は中止することになっている。

6. 消費生活コーディネーター

消費生活センターからの情報発信を行っている中で、複数の自治会から資料の請求があり、お届けしました。回覧板も用意していますので必要な場合はお申し出ください。また、ホームページに消費生活コーディネーターのページを作ってもらいましたので、ご覧ください。

7. その他質疑応答

・初めての担当なのでわからないことが多い状況だが、トランシーバーの交信テストでは、当日、設定を18チャンネルにして待っていたが通信がなかった。
→ふるさと協議会から皆さんに呼びかける場合は11チャンネルを使っています。18チャンネルは、同じ自治会で複数台を持っている場合、内部で相互に連絡する時に使っていただくものです。次回は11チャンネル設定でお願いします。

・敬老のつどいの参加については、町会単位で取りまとめする方法を遠慮なく進めてもらいたい。
→町会単位で出来れば良いのだが、難しい町会もあると思われるので、近隣センターにあるFAXでの対応が可能かどうかを確認してもらいたい。
→近隣センターの職員に負担をかけるのは心苦しいので、郵便で送ってもらうことで良いのではないか。
→去年は郵送という方法で行い、参加者が160何名かになっている。いつもは500名、雨が降っても300名というレベルだが郵送だとそこまで減ってしまう。公平性を確保するためにも良い方法を模索したい。

- ・ 中原小学校には避難所運営委員会はないが、隣接する中原中学校と連携をとるようにはどうか。
- 中原小学校では施設管理者に関心を持ってもらえていないのが現状。避難所として使用予定の自治会が二つの避難所を運営できるのかという問題も含め、検討したい。

以上